

五輪は中止し コロナ対策に集中すべき

日本共産党都議団
「都民の命を最優先に」



都民も専門家も「開催反対」

これに対し、日本共産党都議団は代表質問で、①五輪大会中止、または延期をもとめる世論は8割におよんでいること。②医師や公衆衛生の専門家たちも開催できる状況にはない、と言っていること。③小池知事自身が「外出はひかえて」「東京にこないで」と言っている一方で、子どもたち81万人を五輪大会観戦に動員する計画をすすめているなど、都政自体が矛盾し混乱していることなどを厳しく指摘したうえで『都民の命を守るために、今夏の五輪開催は中止を決断し、コロナ対策に力を集中すべきだ』と強く迫りました。

都議選で「中止の決断を」の声をあげよう

和泉なおみ都議は6月5日、亀有駅南口で小池晃日本共産党書記局長、宇都宮健児元日弁連会長とともに街頭演説を行い「感染状況も医療体制も深刻です。このようなかたがたに、世界各国から10万人もの選手と大会関係者が集まる五輪大会を強行すれば『変異株の祭典』になりかねません。問近に迫った都議選で都民は『五輪中止』を決断せよ」の声を主権者として表明しよう。そのためには日本共産党の躍進と、和泉なおみを三たび都議会へとおしあげてください」と訴えました。

任期最後となる定例都議会は6月1日から7日まで開かれました。

小池百合子都知事は所信表明で「現在のコロナ感染状況から五輪開催について不安を感じる声があることは承知している」と述べながら「安全・安心の大会運営に全力を尽す」と、あくまで五輪開催を強行する考えを示しました。

しかし小池知事は「安全・安心な大会運営に向けて着実に準備をすすめてまいります」とあくまで五輪

「安全・安心な大会運営に向けて着実に準備をすすめてまいります」とあくまで五輪

「感染状況も医療体制も深刻です。このようなかたがたに、世界各国から10万人もの選手と大会関係者が集まる五輪大会を強行すれば『変異株の祭典』になりかねません。問近に迫った都議選で都民は『五輪中止』



和泉都議

コロナ自粛で苦しむ立石商店街で

聞きとり調査活動を行う

和泉なおみ都議と和泉事務所中小企業チームは、コロナ緊急事態宣言の延長が



必要となった連休あけの5月8日、立石商店街を軒下み訪問して、商店の声を聞く調査活動を行いました。

どのお店でも歓迎され、切実な小売店のなまの苦しみが訴えられました。和泉都議はここで聞くことができた声を六月都議会に反映

させるとともに奮闘しました。二面にはいっしょにこの活動に参加した葛飾民主商

工会上務局長の小林智子さんの寄稿を掲載してありますので、ぜひお読みください。

日本共産党 都議会議員

和泉なおみの
さわやかレポート

NO.58 2021.6

和泉なおみ事務所 葛飾区東立石 3-25-8

TEL 5671-0850 / FAX 5671-0851

